

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 託麻会

- ◎ 障害者支援施設 「朋暁苑」
- ◎ 生活介護事業所 地域生活支援センター
「託麻大地」
- ◎ 共同生活援助事業所 グループホーム
「まんまん」
- ◎ 朋暁苑指定相談支援事業所

基本方針

- 1 人として共に生き「個人としての尊厳を重視」した豊かな生活の場とする。

利用者が自立して生活できるよう、利用者個々の生活内容に応じて援助し、かつ、利用者の自己選択・自己決定を尊重した生活ができるよう支援する。

- 2 職員は、専門職としての誇りを持ち、知識・技術の高揚・研鑽に努める。

職員は、社会福祉業務に携わる社会的責任を自覚し、専門的な知識・技術などを習得して、日常業務の中に反映させるとともに、苑の使命達成のため誠実に業務の推進に努める。

- 3 地域に愛され信頼される施設作りに努める。

関係各機関・団体などとの連携を深めるとともに、ショートステイなどの居宅支援事業の実施により、地域福祉サービスの拠点としての体制整備に努める。

経営理念

1 (利用者の尊重)

利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します。

2 (自立支援)

利用者の持つ能力に応じて自立した日常生活を営むことができる支援をします。

3 (安心した生活)

利用者や家族が安心して生活できるよう支援します。

4 (地域との連携)

地域住民またはその自発的な活動等との連携協力を行う等の地域との交流につとめ、地域の福祉サービスの拠点を目指します。

施設の概要

令和6年3月31日現在

施設名	朋 暁 苑	運営主体	社会福祉法人 託麻会	設立年月日	平成6年7月1日	定員	80名
種 別	障害者支援施設	所在地	熊本市東区小山町2210番地	理事長	満永寿博	施設長	満永 勝士
敷 地	7, 280. 75㎡ *居室 2人部屋 40室						
建 物	平屋 3, 029. 87㎡ 1人部屋 ALS室2部屋 ショートステイ4部屋 * 特別浴室／一般浴室／脱衣室／食堂／機能回復訓練室 * その他(事務室／会議室／医務室／相談室／厨房／ケア室等)						
入所者定員	80名		入所者現員	75名			
常勤職員数	56名		非常勤職員数	6名			
入所者の状況	障害支援区分の割合	1…0人、2…0人、3…0人、4…4人、5…11人、6…60人					
	障害・疾患別割合	脳性まひ	33%	脳血管障害	19%	脊髄損傷	1%
		特定疾病(介護保険適用)	24%	特定疾患(難病)			7%
		その他	16%	<small>*「特定疾病」と「特定疾患」の両方に該当する症状(例: ALS、パーキンソン病など)をお持ちの利用者については、「特定疾病」と「特定疾患」の両方にそれぞれカウントしている。</small>			
	年齢構成	30歳未満	11%	30～39歳	7%	40～49歳	5%
		50～59歳	11%	60～69歳	25%	70歳以上	40%
	重複障害等の状況	視覚障害	8%	てんかん	39%	知的障害	52%
		認知症	1%	精神障害	9%	遷延性意識障害	3%
	意思疎通の状況	意思疎通は可能	49%	意志疎通はやや困難		24%	
		意思疎通は極めて困難	19%	判断が難しい		8%	
施設が実施する在宅福祉サービスの現状	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所事業・日中一時支援事業(4名)・相談支援事業 ・生活介護事業(80名) ・施設入所支援(80名) 						
特徴的な事業や重点事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション・日中活動を実施し日中サービスの充実を図っている。また、地域に開かれた施設を目指し積極的に地域交流を図っている。 ・利用者の意向を尊重した個別支援計画を作成し、希望に沿った生活の実現に努めている。 						
【基本方針】							
1 人として共に生き「個人としての尊厳を重視」した豊かな生活の場とする。							
2 職員は、専門職としての誇りを持ち、知識・技術の高揚・研鑽に努める。							
3 地域に愛され信頼される施設作りに努める。							

令和5年度 朋暁苑事業報告書

月	会議等	行事等	保健衛生等	研修会等
4月	行事運営会議 職員会議 給食会議 全員懇談会 各種委員会 支援検討会	個別支援外出:ミルク牧場、310食堂	厨房内害虫駆除	
5月	行事運営会議 職員会議 給食会議 全員懇談会 各種委員会 支援検討会	ショッピング:イオンモール熊本、江津湖公園 調理実習	厨房内害虫駆除 職員健康診断 利用者健康診断	・令和5年度 経営研修会 ・あおぞら高等学院熊本キャンパス進路説明会 ・ビジネスマナー研修会 ・業務改善研修会
6月	行事運営会議 職員会議 給食会議 全員懇談会 各種委員会 支援検討会	家族参加型の日帰り旅行:阿蘇猿回し劇場 施設親善オセロ大会 誕生会 託麻大地交流会	厨房内害虫駆除 職員健康診断 利用者健康診断	・安全管理講習会 ・九州障害者施設協議会 施設長・リーダー職員研修会 ・熊本県社会福祉法人経営青年会総会・第1回定例勉強会 ・中堅職員コース ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程第1回初任者コース ・チームリーダーコース第1回 ・技能実習責任者講習
7月	行事運営会議 職員会議 給食会議 全員懇談会 各種委員会 支援検討会	個別支援外出:サントリー九州熊本工場見学	厨房内害虫駆除 職員健康診断	・九州ブロック社会福祉法人経営青年会総会・セミナー兼第1回大分県社会福祉法人経営青年会セミナー ・社会保険事務講習会 ・全国身体障害者施設協議会研究大会 ・社会福祉従事者研修第2回初任者コース ・全国社会福祉法人経営青年会令和5年度総務DX推進委員会主催セミナー(第1回)
8月	行事運営会議 職員会議 各種委員会 支援検討会	夏祭り	厨房内害虫駆除	・公正採用選考人権・同和問題啓発推進委員研修会 ・熊本県社会福祉法人経営青年会8月定例勉強会 ・熊本県社会福祉法人経営者協議会、社会福祉法人 制度改革対応セミナー ・熊本県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修 ・スーパーバイザー養成研修会 ・社会福祉従事者研修 中堅職員コース第2回
9月	行事運営会議 職員会議 給食会議 全員懇談会 各種委員会 支援検討会	ショッピング:シュロアモール長嶺 個別支援外出:蛍ヶ池釣り堀センター、孔子公園 外出支援:イオンモール熊本 誕生会 調理実習	厨房内害虫駆除	・安全運転管理者講習会 ・衛生管理講習会 ・社会福祉施設に係る労働安全衛生管理講習会 ・第40回九州身体障害者施設研究大会 ・社会福祉法人労務研修会 ・リスクマネジメント研修会 ・現場の業務効率化研修会 ・シェアド・リーダーシップ

10月	<p>行事運営会議 職員会議 給食会議 全員懇談会 各種委員会 支援検討会</p>	<p>家族参加型の日帰り旅行:熊本空港裏 生花</p>	<p>厨房内害虫駆除 インフルエンザ予 防接種</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Care TEX福岡 '23専門セミナー ・熊本県社会福祉法人経営青年会10月定例勉強会 ・精神発達障害者サービス提供職員研修会 ・第3回初任者コース ・福祉職員のための記録研修会 ・九州障害者支援施設協議会第14回サービス提供職員研修会 ・第26回社会福祉法人経営青年会全国大会 ・福祉サービス苦情解決研修会 ・年末調整説明会 ・救急法研修会 ・ビジネスマナー研修会 ・モチベーションアップ研修会
11月	<p>行事運営会議 職員会議 給食会議 全員懇談会 各種委員会 支援検討会</p>	<p>くまもと障がい者芸術展見学 誕生会 文化祭 託麻大地交流会 茶話会</p>	<p>厨房内害虫駆除 職員健康診断 利用者健康診断 コロナウイルス 予防接種</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンガーマネジメント研修会 ・社会貢献事業生計困難者レスキュー事業CSW初任者研修会 ・九州ブロック社会福祉法人経営青年会第2回総会セミナー
12月	<p>行事運営会議 職員会議 給食会議 全員懇談会 各種委員会 支援検討会</p>	<p>ショッピング:光の森 クリスマス会 餅つき 琴ノ若傑太力士交流会</p>	<p>厨房内害虫駆除 職員健康診断 利用者健康診断 コロナウイルス 予防接種</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンリテーション研修会 ・全国社会福祉法人経営者協議会「リスクマネジャー養成講座2023」 ・スーパーバイザー養成研修会 ・九州地区障がい者相談支援事業合同研修会長崎大会 ・チームビルディング研修会 ・熊本県障害者虐待防止・権利擁護研修 ・熊本県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修
1月	<p>行事運営会議 職員会議 給食会議 全員懇談会 各種委員会 支援検討会</p>	<p>サーカス鑑賞 初詣 調理実習</p>	<p>厨房内害虫駆除</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジャー実践講座2023 ・福祉職場OJT推進研修会 ・全国青年会法人経営・事業展開検討委員会第2回オンラインセミナー ・キャリアパス対応生涯研修課程第4回初任者コース
2月	<p>行事運営会議 職員会議 給食会議 全員懇談会 各種委員会 支援検討会</p>	<p>個別支援外出:映画鑑賞 市議会傍聴 茶話会</p>	<p>厨房内害虫駆除</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者虐待防止マネジャー研修会 ・社会福祉法人制度改革対応セミナー(後期) ・第50回九州障害者支援施設研究大会 ・職場リーダーの「伝える力」向上研修委員会 ・新型コロナウイルス感染防止対策研修会 ・全国青年会組織人材マネジメント委員会上司、同僚、部下との向き合い方
3月	<p>職員会議 給食会議 全員懇談会 各種委員会 支援検討会</p>	<p>お花見</p>	<p>厨房内害虫駆除</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回総会、経営者セミナー ・全国身体障害者施設協議会第36回経営セミナー ・施設見学研修(福岡 穂波学園)

令和5年度 利用者支援実績

1. 生活介護事業

口中活動においては、新型コロナ対策としてソーシャルディスタンスを意識しながら少人数の集団を形成し、ユーチューブ（動画）やアクティビティー用具を活用した室内運動やクイズ・連想ゲーム等の脳トレを行った。口中活動の一環としてeスポーツを導入したが、当施設利用者にはゲームの難易度が高く参加できる利用者が限定される事と、他施設とのスケジュールが合わずオンラインでの交流が困難だった事などを含め、10月末で終了した。

外出支援においては、積極的に計画を立て、ミルク牧場やショッピング、家族参加型旅行及び施設親善オセロ大会など、感染症の状況に応じ可能な限り実施した。苑内での活動においては、4年ぶりに夏祭りを開催し、花火やかき氷など夏の風物詩を楽しんでいただけた。

2. 施設入所支援

利用者の重度化・高齢化が顕著に見られている中で、身体機能の低下や入院に至るケースが増えてきていることを受け、担当職員や看護師等の専門職による日々の身体状況や健康状態の把握を行い、異常時の早期発見に努めた。今後も通院や入院に至るケースが増えることが予想されるため、引き続き専門職間の連携を密にして支援していきたい。また、夜間帯でも看護師を配置したことで、要観察者の継続した状態把握と状況に応じた早期対応を行うことができた。健康管理については協力医療機関・保健所の助言指導を頂きながら、生活部・看護師・感染症対策委員会が中心となって新型コロナ感染予防対策を実施、利用者・ご家族にも最新の情報を提供しながら蔓延防止に努めた。しかし、新型コロナが5類へ移行されたことを踏まえ、面会や外泊など利用者のご家族及び職員が集える時間も増やしていった。

3. 苦情解決について

利用者・ご家族からの相談・要望・苦情については、ご意見箱を設置すると共に相談窓口を設け、迅速かつ丁寧に対応した。令和5年度の苦情(要望も含む)は、7件(利用者本人5件・家族2件)で本人・家族及び関係者と話し合いを行いすべて円満解決した。

4. 虐待防止、権利擁護、障害者差別解消法について

虐待防止委員会、研修委員会を中心に権利擁護・障害者虐待防止法・障害者差別解消法についての研修機会を設け啓発活動を心掛けた。毎年11月に実施している虐待防止早期発見チェックリストの活用により全職員で自身の業務態度を振り返り虐待防止意識を高める事ができた。また、身体拘束廃止検討委員会にて毎月拘束廃止に向け協議する場を設け、1名のミトン・抑制帯使用を廃止することが出来た。しかし、2名の利用者については、本人の体動によりベッドからの転落の危険性が高いという事で、ベッド柵を4点使用する旨盛り込んだ身体拘束の同意を新たに取っている。

【令和5年度の実習生・ボランティア受け入れ状況】

【実習生】

ソーシャルワーク (社会福祉士)実習	九州看護福祉大学	1名
	YMCA	1名
介護実習	九州看護福祉大学	1名
	城北高校	2名
実務者研修		0名

令和5年度の実習生については計5名を受け入れた。実習生を受け入れるにあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を事前に協議した上で、実習生を受け入れた。

ソーシャルワーク実習では相談援助技術やプランニングを中心に実習計画を立て、介護実習においては実際の介助・支援を学べるような実習計画とし、介助の場面やレクリエーションを通じて、利用者の方々にとっても良い交流の機会となった。

【地域交流事業・ボランティア受け入れ状況】

ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り：鳥濱運栄氏、星翔高等学校チアリーディング部 ・文化祭(生け花)、お正月飾り：田邊優子先生、他4名 ・クリスマス会：鳥濱運栄氏
職場体験	マリスト学園高校 3名

年間行事計画や地域活動行事は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した事もあり、可能な範囲での外部からのボランティアを依頼した。夏祭りは、昨年度よりボランティアやご家族を招待していたが、今年度は少し規模を拡大し、ボランティアの数も増やし開催する事が出来た。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後は、外出や外泊、面会等の制限を無くし、クラスター発生時等は制限をかける等、その時に応じた対応を行った。今後も引き続き、基本的な感染症予防対策を行いながら、ご家族や地域の方々との交流を図る事が出来るよう対応していく。

利用者個人の個別支援目標達成の為、旅行会社と連絡調整を行い、外出時の同行ボランティアを依頼する等して、職員では対応が難しい県外への外出等の要望も叶える事が出来た。

令和5年度 クラブ・日中活動実績

クラブ名	活動回数	参加人員	主な活動内容
園芸	年3回	10~15名程	<ul style="list-style-type: none"> 季節の花(チューリップ、パンジー、ひまわり、マリーゴールド等)を利用者の方々と一緒にプランターや花壇に植える事で、四季を感じて頂く事が出来た。苺の苗を育てる方もおり、実が実るまでの過程や収穫、実食を楽しまれる事もあった。 文化祭の際、ボランティアで生け花の先生に来て頂き、一緒に生け花を楽しんで頂いた。地域の方々との良い交流機会となっている。作品展示も行い、面会に来られたご家族や多くの利用者の方々に鑑賞して頂く事が出来た。 正月には門松や生け花を観賞して頂き、新年度を迎える事が出来た。
調理・お茶会	年6回	20~60名程	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭でのお茶会では初めてケーキバイキング形式を試みた。その場で、ケーキや和菓子、飲み物(珈琲、紅茶、ジュース等)を選んで頂いた。様々な種類のケーキ等の中から選ぶ楽しみを持って頂く事が出来たのではないと思う。経管栄養の利用者の方々にも200mlのパックジュースを準備し、水分補給の時間に注入を行った。その他のお茶会でも提供するお菓子の種類を変えて、マンネリ化防止を図った。 調理実習は食事形態や季節に合わせたメニューを実施した。冬場の感染症が落ち着いている時期にはお鍋を作り、参加者で鍋を囲んで食事を楽しむという機会も設ける事が出来た。
音楽	月3~4回 (日中活動計画に応じて)	10~15名程	<ul style="list-style-type: none"> 童謡や昭和の名曲等の音楽に合わせて歌ったり、楽器や手拍子でリズムを取ったりと、賑やかで楽しい音楽活動を心掛けた。 インターネットを活用したカラオケを取り入れ、年代に応じて幅広い歌を楽しむ事が出来た。普段は本館・新館に分かれてカラオケを楽しまれ、年2回程カラオケ大会を開催し、皆で楽しむ機会を設ける事が出来た。新型コロナウイルスが5類に移行した事を受け、「歌う」活動も積極的に取り入れる事が出来るようになった。
リフレッシュ運動	年4~5回	20名程	<ul style="list-style-type: none"> 春先や秋頃の気候の良いときに苑庭に出て、動かせる範囲で軽体操を行ったり、ボールを使って体を動かしたりして、心身のリフレッシュを図る事が出来た。
手紙・塗り絵	年2回 (塗り絵定期的)	20名程	<ul style="list-style-type: none"> 可能な範囲で文字や絵を描き、ご家族や友人に手紙・絵手紙を出す事が出来た。 職員が下絵を描いたもので塗り絵を楽しむ事が出来た。 外出や外泊の制限は無くなったものの、ご家族が高齢で来苑して頂く事も中々難しくなっているところもある為、暑中見舞いや、年賀ハガキを作成し送ることで交流を図るようにした。
日中活動	月・火・水・木・金	75名	<ul style="list-style-type: none"> 月曜から金曜まで午前と午後に分け、1ヶ月毎の日中活動計画に沿って様々な活動を行った。 気候の良い時(3~5月、10~11月)には、屋外で植物観賞やキャッチボールなど、外気浴の活動も取り入れた。 個別支援計画内容に合わせた個別の自主活動を取り入れ、個別支援目標達成へ向け取り組む事が出来た。 プロジェクターを活用した活動を取り入れ、映画鑑賞、スポーツ観戦等を楽しまれた。 外出支援も日中活動の中に取り入れ、普段、中々外出が難しい利用者の方でも短時間での買い物やドライブ外出が出来るよう支援を行っている。

利用者現況表

(令和6年3月31日現在:利用者74人)

1 利用者の病症類別 — 性別・障害等級・年齢

障害の状況 属性		入所者の主たる障害・疾患											合計		
		脳性麻痺・脳性小児麻痺	脳血管疾患	頭部外傷	知的障害	ダウン症	頸椎損傷・頸部外傷	その他	【難病】						
									脊髄小脳変性症	後縦靭帯骨化症					
性別	男性	14	8	6	4	3	0	6	1	1					43
	女性	11	4	0	3	3	1	8	2					32	
	計	25	12	6	7	6	1	14	3	1					75

身体障害者手帳等級	1級	20	11	5		1	1	10	2					50
	2級	2		1	1			1	1	1				7
	3級	1			3	1								5
	4級					1		1						2
	5級		1											1
	6級													0
	なし	2			3	3		2						10
	計	25	12	6	7	6	1	14	3	1				75

年齢構成別	30未満	男	3					1							4
		女	3				1								
	30~39	男	1		1					1					3
		女	1			1				1					3
	40~49	男	1	1			1								3
		女							1						1
	50~59	男	1	1		2									4
		女	1				2								3
	60~64	男	2		1		2		3						8
		女	1	1					2						4
	65~69	男	1	1	1						1				4
		女	1			1			1	1					4
	70以上	男	5	5	3	2			2						17
		女	4	3		1		1	4						13
計	男	14	8	6	4	3	0	6	1	1	0	0	0	43	
	女	11	4	0	3	3	1	8	2	0	0	0	0	32	

2 移動状況

区分		車椅子使用	電動車椅子使用	歩行可能	歩行器・装具使用	計
男	要介助	27	0	0	0	27
	自立	14	0	2	0	16
女	要介助	16	0	0	0	16
	自立	12	2	2	0	16
計	要介助	43	0	0	0	43
	自立	26	2	4	0	32

3 介護状況

区分	洗面	更衣	食事	排泄	入浴
全面介助	36	49	4 胃ろう13 鼻腔3	40 カテーテル7	48
一部介助	25	24	15	25	27
自立	14	2	35	3	0
計	75	75	75	75	75

5 障害支援区分

区分 6	60
区分 5	11
区分 4	4
区分 3	0
計	75

4 出身市町村別人員

所轄別	人員	所轄別	人員	所轄別	人員
熊本市	47	合志町	3	天草市	1
八代市	2	益城町	3	西原村	3
山鹿市	2	甲佐町	2	和水町	1
阿蘇市	2	山都町	1		
宇城市	1	大津町	1		
大傘田市	1	球磨村	0		
菊陽町	3	南阿蘇村	0		
湧水町	1	玉名市	1	計	75

令和5年度 朋暁苑(生活介護) 利用状況

(単位:人)

月別	令和4年度		令和5年度		前年対比 (延べ人数)
	月別利用者数	延利用者数	月別利用者数	延利用者数	
4月	81	1,636	81	1,613	-23
5月	82	1,641	80	1,668	27
6月	82	1,587	81	1,592	5
7月	77	1,598	83	1,669	71
8月	71	1,528	83	1,629	101
9月	78	1,495	79	1,534	39
10月	77	1,570	82	1,688	118
11月	76	1,474	83	1,629	155
12月	78	1,572	82	1,663	91
1月	77	1,554	82	1,658	104
2月	69	1,297	83	1,564	267
3月	81	1,636	74	1,669	33
合計	929	18,588	973	19,576	988
			前年比		105.3%

(単位:人)

市町村	令和4年度		令和5年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
大牟田市	1	116	1	270	154
熊本市	54	11,657	55	12,140	483
八代市	2	538	2	479	-59
玉名市	1	262	1	270	8
山鹿市	3	537	3	575	38
菊池市	1	6	0	0	-6
宇土市	1	27	1	83	56
上天草市	1	263	1	268	5
宇城市	1	268	1	270	2
阿蘇市	2	537	2	537	0
合志市	3	795	3	726	-69
和水町	1	240	1	270	30
大津町	1	253	1	270	17
菊陽町	4	829	3	731	-98
西原村	2	538	3	796	258
益城町	5	829	6	783	-46
甲佐町	1	269	2	482	213
山都町	1	268	1	268	0
多良木町	1	32	1	44	12
相良村	1	32	1	44	12
球磨村	1	32	0	0	-32
湧水町	1	260	1	270	10
合計	89	18,588	90	19,576	988

(単位:人)

区分	令和4年度		令和5年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
区分1	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0
区分3	1	16	1	35	19
区分4	5	843	8	1,384	541
区分5	12	2,595	14	2,529	-66
区分6	72	15,134	69	15,628	494
合計	90	18,588	92	19,576	988
	平均支援区分合計	107,199	平均支援区分合計	112,054	
	平均障害支援区分	5.8	平均障害支援区分	5.7	

※区分変更の為、利用者数重複あり

令和5年度 短期入所 利用状況

(単位:人)

月 別	令和4年度		令和5年度		前年対比 (延べ人数)
	月別利用者数	延利用者数	月別利用者数	延利用者数	
4月	14	84	17	67	-17
5月	14	70	20	83	13
6月	15	57	16	68	11
7月	18	67	20	85	18
8月	16	51	23	93	42
9月	16	50	23	88	38
10月	17	65	18	77	12
11月	19	79	19	76	-3
12月	16	69	23	91	22
1月	10	27	17	71	44
2月	3	6	20	77	71
3月	19	82	5	14	-68
合 計	177	707	221	890	183
			前年比		125.9%

(単位:人)

市町村別	令和4年度		令和5年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
熊本市	23	617	20	724	107
八代市	1	2	0	0	-2
山鹿市	1	42	0	0	-42
菊池市	0	0	1	12	12
合志市	0	0	1	56	56
大津町	1	2	1	6	4
菊陽町	1	34	1	40	6
益城町	2	10	2	43	33
西原村	0	0	1	9	9
合 計	29	707	27	890	183

(単位:人)

区 分	令和4年度		令和5年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
区分1	0	0	0	0	0
区分2	1	16	1	8	-8
区分3	1	42	1	9	-33
区分4	1	15	1	10	-5
区分5	6	92	6	198	106
区分6	16	474	15	598	124
障害児1	0	0	0	0	0
障害児2	0	0	0	0	0
障害児3	4	68	3	67	-1
合 計	29	707	27	890	183
	平均支援区分合計	3,726	平均支援区分合計	4,862	
	平均障害支援区分	5.3	平均障害支援区分	5.5	

※区分変更の為、利用者数重複あり

令和5年度 日中一時支援 利用状況

(単位:人)

月別	令和4年度		令和5年度		前年対比 (延べ人数)
	月別利用者数	延利用者数	月別利用者数	延利用者数	
4月	2	3	6	36	33
5月	3	6	6	34	28
6月	3	13	6	31	18
7月	3	14	7	38	24
8月	4	24	7	36	12
9月	4	10	6	25	15
10月	3	19	5	30	11
11月	5	16	5	19	3
12月	0	0	4	16	16
1月	4	11	4	11	0
2月	2	2	3	11	9
3月	5	11	0	0	-11
合計	38	129	59	287	158
			前年比		222.5%

(単位:人)

市町村	令和4年度		令和5年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
熊本市	8	108	6	143	35
菊池市	0	0	1	125	125
菊陽町	0	0	1	2	2
益城町	1	21	2	17	-4
合計	9	129	10	287	158

(単位:人)

区分	令和4年度		令和5年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
区分1	0	0			0
区分2	0	0			0
区分3	1	3			-3
区分4	0	0	1	25	25
区分5	2	15	1	18	3
区分6	5	47	7	184	137
障害児1	0	0			0
障害児2	0	0			0
障害児3	1	64	1	60	-4
合計	9	129	10	287	158
	平均支援区分合計	558	平均支援区分合計	1,474	
	平均障害支援区分	4.3	平均障害支援区分	5.1	

※区分変更の為、利用者数重複あり

令和5年度リハビリテーション実施状況

●朋晧苑

作業療法士2名

●朋晧苑のリハビリテーション実施項目に対する利用者数

理学療法・ 作業療法	関節可動域訓練、ストレッチ	38
	筋力維持・増強訓練（錘、徒手抵抗など）	6
	プーリー（滑車運動）	14
	エルゴメーター	3
	空気圧マッサージ（メドマー）	4
	立位訓練（肋木、平行棒）	36
	歩行訓練（平行棒、歩行器、杖）	25
	物理療法（ホットパック）	30
	座位保持訓練	8
	自助具・福祉機器操作	5
	嚥下訓練	9
	発語訓練	4
	作業活動（塗り絵、計算課題、パズルなど）	27
	Eスポーツ	25
補装具申請	30	

●評価

- ・個別支援計画、リハビリテーション実施計画書に基づいた機能訓練
- ・機能低下による嚥下障害に対して、嚥下訓練
- ・褥瘡や転倒予防に対して、ポジショニングや体位交換方法の職員研修及び職員間での情報共有
- ・機能低下や構音障害による発語不明瞭な方への発語訓練
- ・リハビリの一環として、パソコン・スマホ・タブレット入力支援
- ・ノーリフト介護の普及の一環として、移乗介護ロボットの導入や職員研修
- ・日中活動の一環として、eスポーツ導入（ゲームの難易度が高く、できる利用者が限定的であること、また他施設とのスケジュールが合わずオンラインでの交流が困難だったため10月末で終了）

●今後の課題

今後も幅広く生活に即したリハビリテーションを行うことで、利用者のADL全般にかかわり、利用者がより良く生活できるように取り組んでいく。また定期的な職員研修を実施し、支援員のスキル向上に努める。介護ロボットなどの情報収集や機器の導入の検討を行い、職員の負担軽減だけでなく利用者の安心安全、ADLの向上につながるよう努める。

令和5年度 医務業務実績

◎医務体制

嘱託医 本庄内科病院 1週間に1回来苑（第1週のみ月・木 来苑）

歯科医 いずみ歯科 1週間に1回来苑（金曜PM）

くらた歯科 月に3回来苑（金曜AM）

パール歯科 月に3回来苑（水曜AM）

◎看護師9名で利用者・職員の健康管理にあたる。

◎年間入院者 45名

傷病名	人員	傷病名	人員
尿路感染症	2名	症候性てんかん	1名
イレウス	1名	褥瘡	1名
異物誤嚥	1名	手術	4名
心不全	3名	気管支炎	1名
蜂窩織炎	3名	新型コロナウイルス 感染	1名
胸水貯留	1名	腎盂腎炎	1名
肺炎	21名	反復性尿路感染	1名
糖尿病	1名	低ナトリウム血症	2名

◎死亡 4名

・急性肺炎3名 低酸素脳症・肺炎1名 胸水貯留・呼吸不全1名

◎医療的ケアの必要な利用者

- ・吸引12名（口腔内 11名・カニューレ1名）
- ・バルーンカテーテル留置8名 膀胱瘻1名
- ・経管栄養11名（胃瘻8名・鼻腔栄養 3名）

◎人工透析 1名、週3回（仁誠会ながみねクリニック）

◎インフルエンザ予防接種（74名）施行し、インフルエンザ感染者0名

◎コロナウィルスワクチン接種4回目2名 5回目16名 6回目50名 7回目1名

コロナウィルス感染者32名（R6.3/2～3/19）

【評価】

利用者の重度、高齢化に伴い内科的疾患の入院が増えている。又、末梢循環不良や清潔保持不足により皮膚疾患（蜂窩織炎）の発症の方が多くみられ去年と比較し皮膚科受診3倍と増加。病院との情報交換を行い受診し早期対応を行った。低Na血症、それに伴い救急搬送となった例もあり協力医より水分量の指摘を受け、生活部、栄養士と協議し見直しを行った。感染に関して、職員、利用者の健康チェック、標準予防策を行っていたが新型コロナウイルスによるクラスターが起きてしまった。職員一丸となって密に観察を行い、対処療法にて重症化なく軽快し、入院は1名のみであった。

【今後の課題】

利用者の高齢化、免疫力・機能低下により内科的疾患、皮膚疾患を引き起こしやすく重症化や急変しやすい傾向にあるため、状態観察、衛生管理を行い変化がある際は早期対応し、又、急変時の対応について看護師をはじめ支援員へ指導を行う必要がある。医療的ケアを必要な利用者が増えている為、苑外研修や、定期的な勉強会を継続して行う。又、引き続き、職員と利用者の健康管理を徹底し、居室全体の環境整備の強化、感染対策を周知徹底し職員全体で取り組んでいく。

令和5年度 受診状況

協力医療機関

(本庄内科病院・西日本病院・保田窪整形外科病院・熊本セントラル病院
くまもと青明病院・仁誠会ながみねクリニック・黒川クリニック・そうま眼科
戸山、横田医院・熊本赤十字病院)

(単位：人)

診療科目	令和3年	令和4年	令和5年
循環・内科	166	137	156
皮膚科	29	26	76
整形	24	17	15
泌尿器	41	58	88
眼科	7	8	25
透析	330	156	156
精神科	163	191	138
乳腺外科	12	5	0
耳鼻科	11	0	4
婦人科	2	0	1
救急外来			6

苑内における診察

(延べ人数)

年 度	嘱託医による診察	歯 科
令和3年度	1842	110
令和4年度	1233	143
令和5年度	1192	357

令和5年度栄養業務実績

形態別

一口サイズ食	14名
粗きざみ食	20名
きざみ食	22名
ミキサー食	8名
流動食	11名
計	75名

食種別

1000 kcal	4名
1200 kcal	17名
1400 kcal	22名
1600 kcal	15名
1800 kcal	4名
2000 kcal	2名
流動食	11名
計	75名

療養食の内訳

糖尿病食	6名
腎臓病食	1名
脂質異常症食	9名
計	16名

主食形態別

御飯	21名
二度炊き	25名
全粥	12名
全粥ミキサー	6名
流動食	11名
計	75名

行事食の状況

4月			お楽しみの日	
5月		調理実習	お楽しみの日	子供の日
6月	誕生会			
7月		アイスクリーム	お楽しみの日	七夕
8月	夏まつり	かき氷		
9月	誕生会	調理実習		
10月			お楽しみの日	敬老の日
11月	誕生会	お茶会		
12月	クリスマス会			餅つき
1月		調理実習	お楽しみの日	正月
2月		お茶会	お楽しみの日	節分、バレンタイン
3月	誕生会(中止)	調理実習(中止)		ひな祭り、花見弁当

評価

- ・嚥下困難や食事の負担が大きい方、たんぱく質追加の指示が出た方などで現在11名の方に補助食を提供していますが減少は難しくなっています。
- ・お茶や汁物にとろみをつける方も18名になり作業に時間やコストがかかっています。
- ・自力で食事摂取される方も少なくなり、食事介助を必要な方が16名と大変多くなり後介助を含めると半数以上の方に介助が必要になり介助量も増える一方になりました。
- ・今年度は食事をたのしむため、お楽しみの日や行事食を毎月提供しました、また、お茶会、調理実習（デザート、鍋）等、利用者楽しんで頂きました。
- ・経管栄養は利用者の体調に合わせたんぱく流動食、物性調整流動食、乳酸発酵流動食、一般流動食等、個別対応を行っています。

地域生活支援センター託麻大地の概要

令和6年3月31日現在

施設名	地域生活支援センター託麻大地	運営主体	社会福祉法人託麻会	設立年月日	平成22年4月1日	定員	20名	
種別	生活介護事業	所在地	熊本市東区戸島町461-1	理事長	満永 寿博	管理者	満永 勝士	
敷地	948.39㎡							
建物	平屋 395㎡							
* ホール、浴室、脱衣室、多目的ホール、和室、相談室、静養室、キッチン、スタッフルーム、トイレ等								
利用者定員	20名		利用契約者数	47名				
常勤職員数	14名		非常勤職員数	4名				
利用者の状況	障害支援区分の割合	区分6 37人 区分5 9人 区分4 5人 区分3 2人 区分2 0人						
	障害・疾患別割合	脳性まひ	34%	脳血管障害	8%	脊髄損傷	0%	
		特定疾病(介護保険適用)		0%		特定疾患(難病)		8%
		その他	48%	※「特定疾病」と「特定疾患」の両方に該当する症状(例:ALS、パーキンソン病等)をお持ちの利用者については、「特定疾病」と「特定疾患」の両方にそれぞれカウントしている。				
	年齢構成	30歳未満	27%	30～39歳	34%	40～49歳	10%	
		50～59歳	8%	60～69歳	8%	70歳以上	10%	
	重複障害の状況	視覚障害	4%	てんかん	31%	知的障害	76%	
		認知症症状	0%	精神科疾患	6%	遷延性意識障害	2%	
	意思疎通の状況				36%	意思疎通はやや困難		12%
		意思疎通は極めて困難			40%	判断が難しい		10%
施設と地域との交流状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学や特別支援学校等の体験学習では教員や家族と協力し積極的に受け入れ実施。 法人内行事時に地域ボランティア等を招き交流の機会を確保している。 							
特徴的な事業や重点事業等	<ul style="list-style-type: none"> 理学療法士と連携を図りながらリハビリテーション実施計画書に基づいて訓練を提供している 食事制限がある利用者に対して看護師や管理栄養士と連携を図り、安全で適切な食事提供を実施している 熊本市を中心に近隣町村までの、幅広いエリアの利用者を受け入れ、家族と連携を図りながら送迎サービスを実施している 							
【基本方針】								
<ol style="list-style-type: none"> 人として共に生き「個人としての尊厳」を重視した、豊かな生活の場とする。 職員は、専門職としての誇りを持ち、知識・技術の高揚・研鑽に努める。 地域に愛され信頼される施設作りに努める。 								

令和5年度 託麻大地生活介護事業報告

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことでコロナ禍以前のように活動や交流の機会を少しずつ増える事を願っていたが、年間行事のほとんどを実行できたことは利用者への満足度に繋がったと評価したい。
 また、職員や託麻大地利用者にコロナ陽性者が確認された場合は、速やかに本人やご家族に感染状況を説明し、託麻大地利用の判断材料として参考頂いたと考える。
 託麻大地利用者の重度化・高齢化が顕著に見られていることから、ご家族や各相談支援事業所と連携しながら利用者本人の安定した生活・サービス利用に繋げる必要がある。
 令和6年度も利用者が託麻大地で楽しく安心して過ごすことができるよう職員間で連携して支援していきたい。
 また、社会福祉士養成(ソーシャルワーク実習)受け入れ施設として熊本学園大学より2名の学生を受け入れた。
 令和5年度の苦情に関しては7件で、本人・ご家族と話し合いを行い円満に解決した。

月	行事	地域交流 施設見学 体験実習
4月	カラオケ大会	施設見学1組
5月	ドライブ(萌の里)	
6月	誕生会(4月～7月生)+茶話会	
7月		
8月	夏祭り ドライブ(白糸の滝)	
9月	誕生会(8月～11月)+茶話会	
10月	ドライブ(新阿蘇大橋)	施設見学3組
11月	作品展示会(文化祭)	施設見学2組
12月	クリスマス会	
1月	新春書初め大会	
2月	節分豆まき 誕生会(12月～3月)+茶話会	施設見学1組
3月	花見散策	

令和5年度 託麻大地(生活介護) 利用状況

(単位:人)

月別	令和4年度		令和5年度		前年対比 (延べ人数)
	月別利用者数	延利用者数	月別利用者数	延利用者数	
4月	45	636	42	571	-65
5月	45	682	42	604	-78
6月	45	644	42	557	-87
7月	44	640	42	605	-35
8月	41	410	41	601	191
9月	42	618	41	555	-63
10月	44	629	44	602	-27
11月	43	621	43	559	-62
12月	43	317	44	515	198
1月	40	570	45	567	-3
2月	43	565	45	555	-10
3月	43	615	44	588	-27
合計	518	6,947	515	6,879	-68
			前年比		99.0%

(単位:人)

市町村別	令和4年度		令和5年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
久留米市	1	238	1	237	-1
熊本市	29	3,359	28	3,289	-70
山鹿市	1	196	1	205	9
菊池市	1	240	1	180	-60
合志市	1	138	2	287	149
大津町	1	211	1	235	24
菊陽町	4	433	4	419	-14
西原村	1	162	0	0	-162
南阿蘇村	2	368	2	392	24
益城町	4	919	4	926	7
多良木町	1	211	1	221	10
相良村	1	211	1	221	10
球磨村	2	261	1	267	6
合計	49	6,947	47	6,879	-68

(単位:人)

障害区分別	令和4年度		令和5年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
区分1	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0
区分3	3	466	2	224	-242
区分4	6	936	5	964	28
区分5	11	1,477	10	1,587	110
区分6	29	4,068	32	4,104	36
合計	49	6,947	49	6,879	-68
	平均支援区分合計	36,935	平均支援区分合計	37,087	
	平均障害支援区分	5.3	平均障害支援区分	5.4	

※区分変更の為、利用者数重複あり

グループホームまんまんの概要

令和6年3月31日現在

施設名	グループホームまんまん	運営主体	社会福祉法人託麻会	設立年月日	平成22年4月1日	定員20名		
種別	共同生活援助事業	所在地	熊本市東区戸島町459-1	理事長	満永 寿博	管理者	斉藤 愛子	
敷地	A棟 767.99㎡ B棟 903.36㎡							
建物	平屋 A棟 282.93㎡ B棟 277.06㎡							
	*各棟:居室10部屋、ホール、浴室、脱衣室、キッチン、スタッフルーム、トイレ等							
利用者定員	20名		利用契約者数	18人				
常勤職員数	5名		非常勤職員数	4名				
利用者の状況	障害支援区分の割合	区分6 4人 区分5 7人 区分4 6人 区分3 1人 区分2 0人						
	障害・疾患別割合	脳性まひ	16%	脳血管障害	33%	脊髄損傷	0%	
		特定疾病(介護保険適用)		2%	特定疾患(難病)			27%
		その他	27%	※「特定疾病」と「特定疾患」の両方に該当する症状(例:ALS、パーキンソン病など)をお持ちの利用者については、「特定疾病」と「特定疾患」の両方にそれぞれカウントしている。				
	年齢構成	30歳未満	5%	30～39歳	16%	40～49歳	0%	
		50～59歳	11%	60～69歳	27%	70歳以上	38%	
	重複障害の状況	視覚障害	4%	てんかん	5%	知的障害	44%	
		認知症症状	0%	精神科疾患	11%	遷延性意識障害	0%	
	意思疎通の状況	意思疎通は可能		100%	意思疎通はやや困難			0%
		意思疎通は極めて困難		0%	判断が難しい			0%
休日支援状況	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味や興味を通じて本人の生活意欲が維持できるよう支援している。 ・近隣のコンビニエンスストアへ職員が同行し、安全に楽しんで外出できる様に支援している。 							
特徴的な事業や重点事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意思や人権の尊重を重視し、その人らしい生活が出来る様に支援している。 ・利用者の緊急時はマニュアルに沿って、速やかに他職種・家族との連携を図り対応している。 ・安心して生活して頂くための環境作り・職員配置を行い、常時見守りを徹底している。 							
【基本方針】								
1 人として共に生き「個人としての尊厳」を重視した、豊かな生活の場とする。								
2 職員は、専門職としての誇りを持ち、知識・技術の高揚・研鑽に努める。								
3 地域に愛され信頼される施設作りに努める。								

令和5年度 グループホームまんまん

【外出頻度・利用期間・手帳種類・苦情処理】

【年間外出頻度】

行き先	延べ回数
地域の行事・交流 (行事、点字他の勉強会、行政手続等)	17回
買い物 (外食・日用品買い物)	49回
自宅(外泊含む)	4回
病院受診	222回
趣味・娯楽	22回

※新型コロナのレベル状況に応じて外出支援を行っている。

※その他、社会生活への参加意欲を高める為、近隣のコンビニへの同行支援を実施している。

【利用者の利用期間状況】 ※開設:平成22年4月 (令和6年3月末時点)

利用契約後の在籍期間	人数
13年	8人
12年	1人
11年	1人
10年	0人
9年	0人
8年	2人
7年	0人
6年	0人
5年	1人
4年	0人
3年	2人
2年	1人
1年	1人
1年未満	1人
計	18人

【各種手帳所持状況】

手帳種類	人数
身体障害者手帳	17人
療育手帳	8人
精神保健福祉手帳	1人

※重複所持あり

【苦情解決】

内容	件数	解決件数
要望	2件	2件
苦情	0件	0件

※新型コロナウイルスが5類感染症に移行され、利用者本人より食事、外出、他事業所サービス利用についての要望が数件、ご家族からの要望(外出、外泊、コロナ、インフルエンザ予防接種)がある。その他、苦情にまでは至っていないが、支援に関するご意見等も頂いており、その都度解決に向け全職員で情報を共有し話し合いを行っている。

※全員懇談会については、新型コロナウイルスも落ち着き、状況を見ながら調整をし、開催している。利用者からのご意見については普段から傾聴し、利用者が納得・理解されるよう迅速に対応している。

令和5年度 グループホーム 利用状況

(単位:人)

月別	令和4年度		令和5年度		前年対比 (延べ人数)
	月別利用者数	延利用者数	月別利用者数	延利用者数	
4月	20	600	19	568	-32
5月	21	617	19	589	-28
6月	20	586	19	568	-18
7月	20	617	20	603	-14
8月	20	620	20	618	-2
9月	20	600	20	577	-23
10月	20	613	20	600	-13
11月	20	600	20	587	-13
12月	20	592	20	608	16
1月	19	589	20	604	15
2月	19	532	20	556	24
3月	19	588	18	537	-51
合計	238	7,154	235	7,015	-139
			前年比		98.1%

(単位:人)

市町村	令和4年度		令和5年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
久留米市	1	349	1	335	-14
熊本市	10	3,649	11	3,818	169
山鹿市	1	323	1	334	11
西原村	1	246	0	0	-246
南阿蘇村	2	723	2	732	9
益城町	2	730	2	698	-32
多良木町	1	365	1	366	1
相良村	1	365	1	366	1
球磨村	2	404	1	366	-38
					0
					0
					0
合計	21	7,154	20	7,015	-139

(単位:人)

区分	令和4年度		令和5年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
区分1	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0
区分3	3	720	1	334	-386
区分4	7	2,132	6	2,057	-75
区分5	10	2,843	9	3,211	368
区分6	4	1,459	4	1,413	-46
合計	24	7,154	20	7,015	-139
	平均支援区分合計	33,657	平均支援区分合計	33,763	
	平均障害支援区分	4.7	平均障害支援区分	4.8	

※区分変更の為、利用者数重複あり

※利用定員は20名であるが入院・外泊等により延利用者数に変動あり

令和5年度 相談支援事業報告書

事業所名：朋晧苑指定相談支援事業所

1 事業の目的

利用者の有する能力及び適性（特性）に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、事業者が利用者に対して必要な計画相談支援サービスを障害者総合支援法に基づき適切に提供することを目的とする。

2 相談支援件数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

計画相談支援	件数
朋晧苑利用者	16件
グループホーム	6件
通所	17件
居宅介護	21件
就労	6件
その他	5件
障害児相談支援	22件
	<u>合計 93件</u>

相談支援件数		令和4年度	令和5年度	前年度比
計画相談支援	計画作成件数(件)	81	71	-10
	モニタリング件数(件)	190	196	+6
障害児相談支援	計画作成件数(件)	20	22	+2
	モニタリング件数(件)	20	17	-3
計	計画作成件数(件)	101	93	-8
	モニタリング件数(件)	210	213	+3

月平均：25.9件

25.5件

3 契約状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

契約締結者数	人数	契約終了者数	人数	(内訳)
計画相談支援	2名	死亡	8名	朋苑6、在宅2
障害児相談支援	1名	介護保険移行	0名	
	<u>合計 3名</u>	事業所変更	2名	児童2
		サービス利用終了	2名	入院1、自立1
			<u>合計 12名</u>	

契約者総数 合計 156名（前年度契約者総数 165名）

.

.



.

.

令和5年度

事業報告書

地域密着型介護老人福祉施設

特別養護老人ホーム

託麻苑

1 施設の概要

事項	概要	備考
施設名	託麻苑	
所在地	熊本市東区戸島町460番1	
種別	介護保険法 地域密着型介護老人福祉施設 老人福祉法 特別養護老人ホーム	
開設年月日	平成28年6月20日	
利用定員	入居者 29名 ショートステイ 5名	
ユニット区分	全館を4ユニットで構成 1階 いちようユニット 入居8床 ショート1床 つばきユニット 入居7床 ショート1床 2階 さくらユニット 入居7床 ショート2床 あさがおユニット 入居7床 ショート1床	
敷地	施設の敷地面積 2,607.55㎡ 駐車場の敷地面積 1,842㎡	
建物	鉄骨造2階建 建築面積 971.94㎡ 床面積 1,854.60㎡ 建築年月日 平成28年5月30日	
主な施設	事務室 1室 医務室 1室 相談室 3室 介護職員室 2室 多目的室 1室 地域交流室 1室 厨房 1室 利用者トイレ 12か所 職員用トイレ 2か所	
入浴設備	4か所 普通浴 1 座位式 1 車いす式 1 寝台式 1	
医務用機器	滅菌機、吸引機、携帯用吸引機、AED アンビュウ、医薬品保管用冷蔵庫	
リハビリ機器	ホットパック、メドマー、歩行器(2個)、4点杖、 T字杖、重錘、セラバンド、ペグ	
見守り機器	眠りスキャン4台・ベッドセンサー・背部センサー 足元センサー・人感センサー	
地域交流室	80人収容 プロジェクタ、音響設備、舞台	
職員の状況 3月末現在	施設長 1 介護支援専門・生活相談員兼務 1 看護師 3 管理栄養士 1 介護職員15 介護(パート)4 事務員(パート)1 厨房(パート)4 特定技能実習生 2 派遣介護職員 1	合計33人

2 入居者等の概要

【令和5年3月末現在】

(1) 利用申し込み・入退去の状況

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	累計
申込者数	28	27	8	15	12	13	103
入居者数	7	10	7	5	10	4	43
退去者数	8	10	7	6	10	3	44
現入居数	28	28	28	28	27	28	27

* R5年度退所者内訳 転所1 看取り2

(2) 介護度別・男女別の状況

	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	1	3	1		5
女性	0	6	11	6	23
合計	1	9	13	6	28

* 平均介護度 3.9

(3) 年齢別・男女別の状況

	65歳 ～	70歳 ～	75歳 ～	80歳 ～	85歳 ～	90歳 ～	95歳 ～	100 歳～
男性	0	1	1	1	2	0	0	0
女性	1	1	2	1	3	7	8	1
合計	1	2	3	2	5	7	8	1

*平均年齢 88.2歳

(4) 短期入所（ショートステイ）の利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
利用者数	10	11	11	9	11	9	7	5
利用日数	34	45	42	27	47	57	41	23

	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	3	3	2	1	82
利用日数	21	34	15	12	398

稼働 21.8%

3 令和5年度年間行事実績

(1) 年間行事実績

月	行事名	場所	備考
4月	4/18 つつじ見学(昭和園)	苑外	
	4/20 運営推進会議(第1回)	地域交流室	
6月	6/22 運営推進会議(第2回)	地域交流室	
7月	7/7 七夕まつり	各ユニット	
8月	8/17 運営推進会議(第3回)	地域交流室	
	8/23 夏祭り	各フロアー	
9月	9/13 防災訓練・消防点検	施設内外	
	9/18 敬老会	各フロアー	
10月	10/26 運営推進会議(第4回)	地域交流室	
12月	12/21 運営推進会議(第5回)	地域交流室	
	12/22 クリスマス会	各ユニット	
1月	1/2～1/6 初詣(手作り神社)	地域交流室	
2月	2/3 節分	各フロアー	
	2/22 運営推進会議(第6回)	地域交流室	
3月	2/15～3/3 ひな祭り(ひな飾りと写真撮影)	地域交流室	
	3/26 消防点検(消防訓練はコロナ感染の為中止となった)		

*誕生会は、入居者様の誕生日に各ユニットで実施した。

*季節・節目の行事は1階・2階フロアー毎に実施した。

*運営推進会議は、予定通り2ヶ月毎(偶数月)に開催し、運営状況について報告し、委員に助言・指導いただいた。また、地域の行事や課題等を知る機会ともなった。

*託麻東校区 SOS 事業に関する連携会議に出席し、協力施設の実施内容の再確認を行った。

*託麻6校区社会福祉協議会(1日会)の定例会議に出席した。

4 入居者支援の状況

(1) ケアプランの策定状況

ケアプランは、原則として6か月単位でモニタリングし見直すこととなっている。策定・見直しの際には、介護職員や看護職員によるモニタリング結果や医師の意見を踏まえて、担当者会議（家族、苑の各専門職で構成）において説明し、家族の同意を得ている。

令和5年度の月別策定・見直し状況は次の通り。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
7	4	5	4	5	4	9	3	1

1月	2月	3月	合計
2	4	0	48

(2) 医務業務の実績

協力医療機関である本庄内科病院及びパール歯科総合クリニックと連携し入居者の健康管理を支援している。

◆傷病別年間入院者数

傷病名	人数	傷病名	人数
蜂窩織炎	2	肺炎	1
コロナ感染症	1	急性胆管炎	1
脱水症	1	腎盂腎炎	1
前立腺炎	1	発熱精査	1

◆死亡者(看取り含む)の状況

女性(99歳) 病名:老衰(看取り)

女性(79歳) 病名:老衰(看取り)

◆医療的ケアの必要な入居者

・吸引 7名

・経管栄養 2名

◆パール歯科総合クリニックによる定期歯科検診を 4月、12月に実施

コロナ感染防止対策のため口腔ケア研修は中止

◆コロナウイルス感染症防止策の実施

・コロナワクチン接種の実施 (令和5年6月6回目、令和5年9月7回目)

・令和5年4月～令和6年3月 複数回、全職員のPCR検査や抗原検査を実施

・入居者・職員の健康チェック機能の強化(1日2回検温)

・生活環境の整備(換気・室温・湿度管理・手摺拭き・アクリル板の設置等)

・コロナワクチン接種に向けた家族への説明及び医療機関との調整

・感染時に必要な備蓄品のチェックと補充

(3) リハビリテーションの実施状況

機能訓練指導員を中心に看護師・介護職員による生活リハビリを実施している。食事や排せつ、整容、入浴など本人の機能を生かした支援を行っている。

(4) 栄養管理業務の実績

◆療養食の内訳

療養食名	対象者数	療養食名	対象者数
糖尿食	1名	腎臓職	0名
心臓食	3名	高血圧食	7名
貧血食	0名	脂質異常食	0名

◆食形態の内訳

食形態	対象者数	食形態	対象者数
常菜	2名	ゼリー	1名
一口大	7名	ミキサー	1名
粗刻み・極刻み	2名	経管栄養	1名
ソフト	10名	その他	4名

※その他は、通常の食事が食べられず、栄養補助食品のみ摂取されている方です

◆行事食の実施状況

月	行事食名
4	筍ご飯
5	こどもの日弁当（オムライス・海老フライ）
6	父の日（赤飯・刺身）あじさい寿司
7	七夕ソーメン 土用丑の日（うな丼）海の日（海鮮焼きそば）
8	お盆（精進の炊き合わせ）夏祭りカレー
9	敬老の日行事食（松茸御飯・刺身）
10	十三夜（栗ご飯）
11	季節の果物（柿）
12	クリスマス（オムライス・レモンチキン）大晦日（年越しそば）
1	元旦（御節・雑煮）小正月（赤飯・刺身）
2	節分（巻き寿司、稲荷寿司）
3	ひな祭り（散らし寿司）

評価

- ・食形態は、常食・ソフト・ミキサー・ゼリーの4種類でしたが、厨房にて常食を加工した粗刻み・極刻み食も追加して、より入居者様の嚥下機能に合わせられるように対応を行った。
- ・通常の食事があまり入らない方や看取りの方へ、状況に合わせて出来る範囲で代替品の準備を行い、食事への満足感、身体状態の維持に努めた。
- ・献立が業者委託になり、散らし寿司などの変わり御飯、色々な郷土料理が増えたことに加え、施設で手作りデザートや、アイス、季節の果物を提供して、入居者様に喜んで頂いた。
- ・行事のデザートがマンネリ化しないよう、普段食べないケーキを使用して加工したりと、味だけでなく見た目も楽しめるよう工夫を行って、入居者様に喜んで頂いた。
- ・入居者様の状態変化に迅速に対応し、現状に合った食事内容、提供方法を他職種と考えることが出来た。
- ・ADLの低下に伴い、自力摂取が難しくなっている方が増えてきました。出来るだけ自力摂取が維持出来るよう、他職種と連携して工夫を行った。

(5) 苦情相談受付状況

◆苦情相談受付状況

相談者	件数	主な相談内容
入居者	0件	
入居者ご家族	1件	整容について(爪切り)
その他	0件	
合計	1件	

5 職員研修の実績

◆令和5年度外部研修(オンライン研修含む)

	研修名	主催	参加人数
4月	施設介護支援専門員研修会	熊本市老人福祉施設協議会	1名
8月	キャリアパス対応生涯研修過程中堅職員コース(オンライン)	熊本県社会福祉協議会	1名
	危機管理研修会(オンライン)	熊本県老人福祉施設協議会	2名
	相談員研修会	熊本市老人福祉施設協議会	1名
	虐待防止研修会	熊本県社会福祉協議会	全職員
	社会福祉法人法令関係研修会	熊本県社会福祉協議会	1名
9月	ユニットリーダー実地研修	日本ユニットケア推進センター	1名
	現場の業務効率化研修会(オンライン)	熊本県社会福祉協議会	1名
10月	虐待防止研修	熊本県老人福祉施設協議会	1名
	福祉職員のための記録研修会	熊本県社会福祉協議会	1名
	HACCPに沿った特定給食施設等における衛生管理について	熊本市健康福祉局	1名
	九州老人福祉施設職員研究大会	九州社会福祉協議会連合会	3名
	モチベーションアップ研修会(オンライン)	熊本県社会福祉協議会	1名
	福祉サービス苦情解決研修会	県運営適正化委員会	1名
	お口の健康と全身の健康の関係について	熊本パール総合歯科クリニック	1名
	救急法研修会	熊本県社会福祉協議会	1名
11月	救急法研修会	熊本県社会福祉協議会	1名
	「人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業」本人の意向を尊重した意思決定のための研修会	オスカー・ジャパン株式会社	1名
	アンガーマネジメント研修会(オンライン)	熊本県社会福祉協議会	1名
	令和5年度熊本県老人福祉施設研究大会	熊本県老人福祉施設協議会	3名
	看護職のためのユニットケア研修(オンライン)	日本ユニットケア推進センター	1名
	食に携わる職員のためのユニットケア研修(オンライン)	日本ユニットケア推進センター	1名

1 2月	ハラスメント防止研修会（オンライン）	熊本県社会福祉協議会	全職員
2月	職場リーダーの伝える力向上研修会	熊本県社会福祉協議会	1名
	熊本市老人福祉施設協議会 職員研修会	熊本市老人福祉施設協議会	1名
3月	栄養ケア WEB セミナー 看護師が知っておきたい経管栄養のリスクマネジメント（オンライン）	株式会社明治	2名
	施設介護支援専門員研修会	熊本市老人福祉施設協議会	1名

◆内部研修(外部講師によるもの)

7月	感染予防に配慮した排泄ケア勉強会	ユニチャーム中西氏	8名
	新型コロナウイルス感染症における感染対策	熊本市介護事業課 感染症対策班職員2名	12名
9月 10月	ポジショニング研修会	野中理学療法士	介護職員 全員

◆各種委員会研修及び業務継続計画研修・訓練

- ・リスクマネジメント委員会研修→年2回(6月・2月)
- ・身体拘束委員会研修→年2回(7月・1月)
- ・虐待防止研修→年1回(虐待防止チェックリストの作成)
- ・褥瘡防止研修→年2回(9月～10月・1月)
- ・業務継続計画(災害)→年1回研修(9月)・年1回訓練(今年度は11月机上にて実施)
- ・業務継続計画(感染)→年1回研修(9月)・年1回訓練(今年度は10月机上にて実施)



令和5年度 事業報告書

介護付有料老人ホーム
特定施設入居者生活介護事業

令寿

1 施設の概要

所在地	〒861-8038 熊本市東区長嶺東2丁目28-80
施設名称	介護付有料老人ホーム 令寿
設置法令	老人福祉法：有料老人ホームの許可施設 介護保険法：特定施設入居者生活介護事業所の指定施設 介護保険事業所番号：4370114573
開設者	社会福祉法人託麻会 理事長 満永壽博
管理者	施設長 吉野正孝

敷地面積	4, 825㎡
延床面積	3, 358㎡ (全体3, 965㎡)
構造	鉄骨造4階建て
居室数・定員	18㎡タイプ72室・72人、29㎡タイプ3室・3人 合計 75室・75人
駐車台数	40台 うち外来者用8台
主な施設	1階：地域交流室、厨房室 2階から4階：トイレ付居室75室、食堂兼リハコーナー3室、ゲストルーム3室、テラス、バルコニー、入浴施設6か所、多目的トイレ4か所、エレベーター1基、和室、多目的室、洗濯室、屋外非常階段

2 職員の状況

＜職員配置＞ (R6.3.末現在) 常勤換算：週労働時間÷週40時間

部門	職務	常勤職員	非常勤職員	人材派遣	職員数	常勤換算
事務・相談部門	・施設長	1			1	1
	・副施設長	1			1	1
	・事務長	1			1	1
	・事務員	2			2	2
	・生活相談・介護支援専門員	2	1		3	2.6
生活支援部門	・介護職員	22	1	4	27	25.5
健康管理部門	・機能訓練指導員	1	1		2	1.5
	・看護師	4			4	4
	・嘱託勤務医		1		1	0.2
合計		34人	4人	4人	42人	38.8人

3 入居者の状況 令和6年3月末日現在

(令和2年11月1日から令和6年3月31日)

入居者累計 99人 (うち令和5年度30人)
 退去者累計 36人 (うち令和5年度14人)
現入居者数 63人

＜介護度別＞ 令和6年3月末日現在

自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
0	2	6	21	12	10	7	5	63

男9、女54 計63人 平均年齢89.5歳

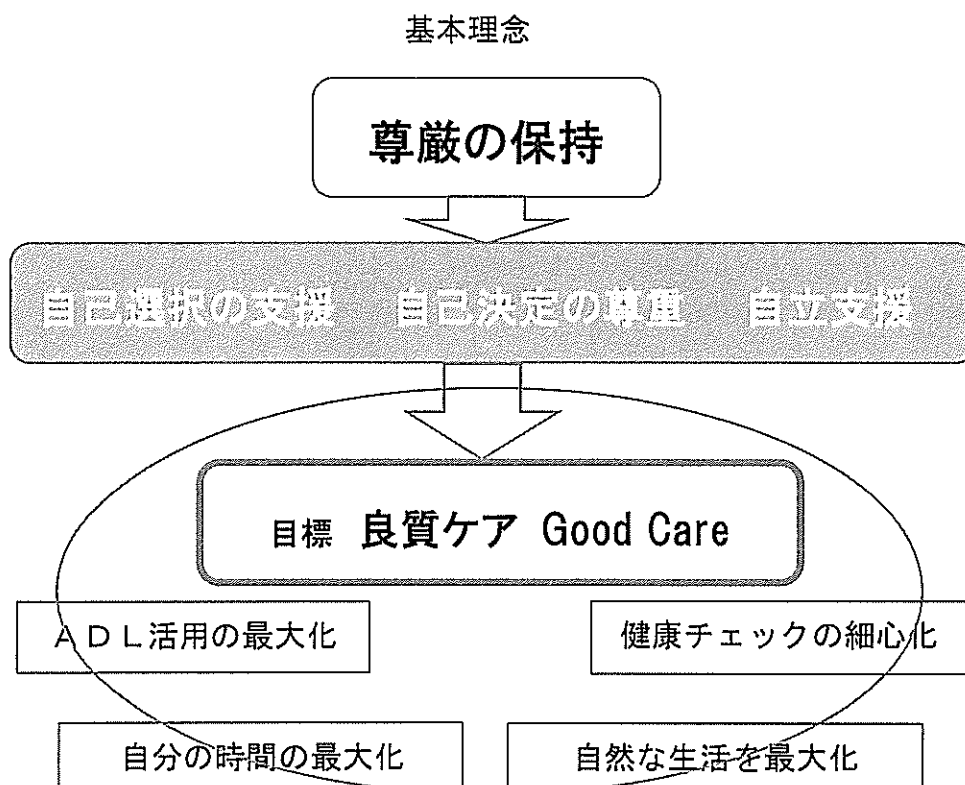
1 運営の基本方針

特定施設入居者生活介護・介護付き有料老人ホーム「令寿」は、当法人が経営する特別養護老人ホーム「託麻苑」や障がい者支援施設「朋暁苑」で培った老人福祉、障がい者福祉の運営ノウハウを結集して運営に当たっています。

ケアの基本理念を「尊厳の保持」とし、「自己選択の支援」「自己決定の尊重」「自立支援」を基本方針とした「良質ケア (Good Care)」を目指します。入居者の「一時的にでもできるADL」、「実践しているADL」を正しく評価・分析し、生活、リハビリ、看護等の総合的な支援体制を構築します。

そのために、職員教育を充実させ、介護と看護の連携を高めながらホームでの新たな生活スタイルをサポートしていきます。また介護中の身体へのご負担を少なくするために最新の福祉機器による「ノーリフトケア」の導入、さらには事務作業の効率化のためのICT導入も進めています。

一方で、周辺地域での高齢化が高まる中で、福祉施設が持つ専門的ノウハウや基盤を有効活用し、地域福祉の向上のため地域の共助、自助能力向上に取り組み、地域社会での社会的責任を果たしていきます。



2 入居者の生活支援

ホームでは、運営方針に基づき入居者様の一人一人の暮らし方に合った生活支援を行います。

入居者様のご要望にお応えできるサービスをご提供するため、介護支援専門員がご本人やご家族、主治医等から要望や留意点などをお聞きします。その結果に基づき最適な暮らしのプランを作成し、入居者様及びご家族の同意を得た上で、プランに沿った支援を実施します。

ホーム運営の基本目標 Good Care

ホーム運営の基本は、介護サービスや健康管理、生活支援により、より充実した健康的な暮らしができることです。そのような暮らしを実現していくために、次の4つに着目した Good Care を目指します。

ADL活用の最大化

ADLとは、移動・排泄・食事・更衣・洗面・入浴などの日常生活動作 (Activities of Daily Living) のことを言い、ADLが低下する背景には身体機能と認知機能の低下と精神面・社会環境の影響があります。ADLと身体・認知機能、精神面、社会環境は相互に作用し合っており、一つでも機能が低下するとADLの低下へとつながります

要介護状態にある入居者は、基本的に何らかのADL低下がみられ機能回復には困難なケース、多くの労力が必要なケースと様々です。ホームでは残存能力に着目しできる限り活用していくことで、全体的なADL低下を予防していくことを目標とします。そのためには、日常生活のあらゆる場面において入居者の活動性を高める支援を行っていきます。

自分の時間の最大化

ホームの生活は、団体生活に近い状況にあります。それが好ましいとき、好ましくないとき、人それぞれの違いがあります。入居者様の生活スタイルを尊重しながら、個室でゆっくり過ごされる時間、食堂・リビングで団らんしながら過ごされる時間など、自己決定による自立した生活が可能となるよう支援します。

☆特色・・・音楽のある暮らし

日常生活の中にセラピーとして音楽を取り入れます。

朝のお目覚めの時刻や昼食・おやつタイムなどに音楽をお聞きいただきリラックスした、ゆっくりとした時間をお過ごしいたします。

自然な生活を最大化

在宅生活では、暑さや寒さなど自然を感じる事が日常のことです。ホームの中では、年間を通じて空調管理されており、季節感も失いがちになります。ホームでは、少しでもそういった季節感を感じる機会として、時々外に出たり、テラスを散歩したりして楽しんでいただきます。またおやつタイムには、季節感のある果物等の企画を組んでいきます。

健康チェックの細心化

健康管理は、ホームの最大の使命です。看護師を配置し、毎日欠かさずバイタルチェックや服薬管理を行います。定期的な通院送迎はもちろん、普段と様子が違うと感じた場合には適宜スタッフが送迎・付き添いを行い医療機関を受診、又は訪問診療していただくよう、万が一に備えます。

また体調不良のご入居者には看護師からご家族への連絡を行い、ご要望に応じて看護記録などを閲覧できるよう、ご家族との連携にも努めます。

☆特色・・・誤嚥性肺炎防止のための口腔ケア

高齢者の誤嚥性肺炎は、口腔ケアの徹底で大幅に軽減できます。
訪問歯科医と連携し口腔ケアに取り組みます。

3. 令和5年度の取り組み

(1) 基本的な取り組み

1-1 概況

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に5類移行となり、やっとコロナが一段落となりましたので入居者様への面会の緩和や外部ボランティア講師の方の活動を開始しました。

令和4年11月4階フロアのオープンを目指して要員の確保、育成を行い、令和5年4月より4階フロアをオープンすることができました。年度前半は施設の認知度も低く新規に入居される方は厳しい状況でしたが、人員や広報等の強化に取り組むことで、入居を希望される見学が増え年度後半には順調に入居される方が増えて目標をクリアすることができました。

1-2 年間入居者目標・実績

(人)

月	R5.4	5	6	7	8	9	10	11	12
目標	50	51	52	55	58	57	59	61	60
実績	50	50	48	51	50	52	52	57	59

月	R6.1	2	3
目標	59	58	60
実績	60	65	63

令和5年度末での入居者様60名（定員の80%）を目指し、今回達成することができました。

計画達成率 105%

入居率(定員75人) 84%

1-3 重点施策

①新体制で新規入居者様の獲得強化

ケアマネージャーの交代により新ケアマネージャー及び生活相談員が協力して新規入居者様の獲得に取り組みました。ケアマネ兼生活相談員のパートタイマー1人(博士)を採用して人員増強しました。

・居宅介護支援事業所や病院の地域連携室、地域包括支援センターを訪問して情報収集と営業活動を行いました。

- ・施設見学—入居申込書提出—入居審査会—入居契約—入居までの一連の流れの事務処理のスピードアップを図りました。
- ・非常勤医師の健康相談を紹介し、広告宣伝で高齢者への訴求力を高めることができました。

②職員のチャレンジ活動としてCS・5S運動を継続し推進

(CS:顧客満足 5S:整理、整頓、清掃、清潔、躰)

- ・CS・5S委員会をR4に設置してCS・5Sに対する職員の理解を深めました。
- ・清掃についてはPDCAを回すように指導して、チェックを厳しくすると共に生花、植栽に力を入れ令寿が”きれい”と言われるように努めました。
- ・新人職員への研修を実施し介護スキルや接遇マナーの向上に努めました。

③令寿の強みを更に磨く

- ・リハビリニーズが高く、入居者増に伴い、週3回の集団運動を中心に認知も含めた機能訓練を行いつつ最新機器の揃ったリハビリを要支援者に実施しました。
- ・令和4年10月から島本正人医師を非常勤の嘱託医として雇用し、毎週2回の入居者様の健康相談を実施しています。入居者様のお話をよく聞かれながら健康状態を診られ、また、耳垢、爪の状態も見られます。
- ・令寿畑の産物及び旬の食材を活用し、美味しい食事の提供に努めました。
元日のおせち料理・食材費の大幅な高騰がありましたが、委託先の(株)東臣様に立派な料理を作っていただき入居者様には大変好評でした。

④コロナ5類移行により、感染防止対策の見直しを図る。又、レクレーションの充実を図る

- ・令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類となり、新指針が熊本市から示され、指導に合わせ高齢者施設に対する感染防止対策(緩和)を行いながら面会を実施しました。
- ・4月お花見の外出レクや外部講師活用を含めて内容の充実が図れました。

(2) ケアマネ・生活相談部門

- ①利用者様満足度調査を令和5年11月～12月に実施しました。アンケート項目によって違いはありますが、非常に良い、少し良いは、35%～83%でした。運営会議等を通じて集計結果を職員へフィードバックしています。
- ②医療機関や他施設とのスムーズな連携を図るため、退院・退所前カンファレンスへの参加(退院・退所時連携加算に繋げる)や面談・電話にて入院中の状態確認を行い、退院後も安全に生活を送れるよう多職種と情報を共有しながら支援に努

めました。

- ③要介護1以上の入居者様の獲得を目指して、4月～6月頃までは居宅介護支援事業所や病院の地域連携室、地域包括支援センターへの営業活動を行いました。徐々に問い合わせや入居者が増えてきたため、夏以降は営業活動が行えませんでした。
- ④見学→入居申込→契約までの事務処理のスピードアップを意識し、令和5年度の新規利用者数は30名となりました。
- ⑤サービス担当者会議を6月にご家族様同席のもと開催しましたが、その後に新型コロナウイルス感染のクラスターが発生したため、予防策として電話や郵送にて施設サービス計画書の確認を行うこととしました。
- ⑥入院者数を減らすため、入居者様の健康管理情報を看護師を中心に介護職員等と共有するだけでなく、早期に主治医とも情報共有化が図れました。
- ⑦効率的な広告宣伝活動のため、「たより」掲載(株式会社柘喜コネクト)、みんなの介護ネット掲載、令寿ホームページ等の内容を随時更新し高齢者への正確な情報提供に努めることができました。

(2) 介護部門

熊本介護業界の上位に位置する令寿の価格帯にふさわしくなるよう、介護職員のケアレベル向上を図る。

①新人職者の育成

新人職者が入居者様の状態把握や日常の業務をスムーズかつ確実に覚えるようプログラムを構築し先輩職員が細かい指導を行いました。

②業務の効率化

1日の介護業務の流れ、内容を見直し、業務の効率化を図りました。清掃の時間を明確にすることで意識向上に役立ちました。

③接遇レベルの向上

荒い、雑な言葉使いや動作だと利用者様の不満につながるため、尊厳の気持ちを持って、言葉足らずにならないように、丁寧な言葉を使い、きれいな所作に心掛け、利用者様に喜んでもらえるよう努力しました。

④4階フロアの稼働を軌道に乗せる

4階フロア令和5年4月開設に合わせて要員を配置し、2階・3階での実習を行うことで運営がスムーズに行くよう図れました。

(3) 健康管理部門

[日常の健康管理]

入居者様が安全に健康な生活が送れるように、日々の健康観察を行い、体調の変化の早期発見・対応に努めました。

- ・一般的なバイタルサインの評価、アセスメント栄養状態、体重排泄・水分摂取の把握・褥瘡予防・創傷処置・軟膏塗布 家族との連絡
- ・新規入居者・相談者の情報収集・各関係者との連絡
- ・主治医との情報共有 健康状態に関する情報提供を書面にて行いました。
- ・薬局や他職種との連携

受診や訪問診療の調整・受診同行者の調整

受診実績 令和5年度 受診合計 1, 217件

内訳：訪問診療 605件

協力医療機関(主治医)受診 206件

他科受診、緊急・臨時受診 245件 など

入院 42件 (緊急搬送8件)

入院後病状悪化や死亡による退居 12名

口腔衛生体制推進：歯科医師、歯科衛生士からの指摘事項フォロー
口腔ケアへの直接介入・実施の見守り・評価

感染症の予防：新型コロナウイルスワクチン接種6回目・7回目
インフルエンザ予防接種

職員のPCR検査・抗原検査(3月末までスクリーニング目的で週3回)

特に新型コロナウイルス感染症への対策

適宜、感染症委員会の開催、職員への指導注意喚起、換気、消毒の徹底

消毒薬やガウンなど感染防止の為に消耗品の準備

BCP作成

食事介助・口腔ケア・排泄介助などの入居者のケア
居室や共有部分の清掃の声掛け・実施

平日は毎日10時から機能訓練を実施

[職員の健康管理]

定期健康診断・・・希望者8名のうち6名実施

各種予防接種、出勤時に体温測定

(4) 機能訓練部門

[機能訓練]

入居者様の健康維持・増進を図るとともに、関節の拘縮や血管障害等の緩和・予防のため、物理療法や運動療法を行いました。また、日々の生活を送るのに必要なADLの維持・向上のため、認知症の予防や症状の軽減を図るため、作業療法を行いました。

R5年4月～R6年3月 年度で4,867人 月平均405人

3階フロアにコロナクラスター発生にて保健所の指示のもと、リハビリ休止となりました。

6/30～7/10

[ノーリフトの普及と研修]

- ・外部講師による研修を5月に2回実施。
- ・ノーリフト用具の使用に関しては対象者への使用の検討や使用状況の確認と把握を行いました。

[嚥下機能研修]

高齢者に多い誤嚥による肺炎を予防するために嚥下機能の勉強会を開催しました(OTとともに実施)。

- ・入居者の嚥下機能評価やトロミ粉の検討は必要時に随時行いました。
- ・新入居者の食形態や嚥下状況、姿勢評価など他職種連携し随時行いました。
- ・トロミ粉の勉強会を外部講師に依頼し、4月に2回実施しました。
- ・嚥下の勉強会を11月に2回実施しました。
- ・トロミ粉管理はセラピストが中心にフロアスタッフと事務担当者で行いました。

(5) 行事計画

新型コロナウイルス感染症は5月5類となりましたが、外出行事及びクラスター発生の時には制限されました。

月	行事	毎月
4月	お花見	☆お誕生会
5月	母の日	☆お楽しみカラオケ会
6月	父の日	☆お買い物（移動スーパー）
7月	七夕祭り	とくし丸
8月	夏祭り	
9月	敬老会	
10月	運動会	
11月		
12月	クリスマス会	
R6.1月	正月遊び	
2月	節分・豆まき	
3月	お花見	

※各月の誕生会では、写真付きのメッセージカードをラミネート加工して額縁に入れ、本人にお渡ししました。

[講師によるレクレーション]

日本舞踊	美智仁会	毎月1回
音楽の広場	前田倫子	毎月1回
みんなで歌おう	吉野早枝子	毎月3回
ハーモニカ演奏・マジック	さつき倶楽部	隔月1回
二胡演奏	高瀬清一	3月1回
写経(般若心経)	吉野正孝、橋本清美	毎週水曜日

(6) 不在者投票施設指定

介護付有料老人ホーム令寿では、令和6年2月13日付けで熊本市選挙管理委員会より「不在者投票関連様式の送付」を受けて、令和6年3月24日執行の熊本県知事選挙の不在者投票所を令寿に設置しました。

・熊本県内に住所のある入居者様48人が投票されて、“投票出来てうれしい”と喜ばれました。

(7) 委員会活動

9の委員会活動を行いました。

安全衛生委員会	堀内厚美委員長	毎月開催
リスクマネジメント委員会	本門尚之委員長	毎月開催
感染対策委員会	下津紀久子委員長	毎月開催
給食・口腔委員会	下田博子委員長	毎月開催
身体拘束廃止・褥瘡委員会	高杉リエ子委員長	2ヶ月に1回開催
物品管理・環境美化向上委員会	満永智美委員長	2ヶ月に1回開催
CS・5S活動委員会	野口秀一郎委員長	毎月開催
ノーリフト・車椅子管理委員会	富田敦子委員長	2ヶ月に1回開催
看取り委員会	谷口智之委員長	毎月開催

(8) 職員研修

職員の資質向上のため研修を実施しました。

内・外部	区分	研修	対象者
内部研修	基礎研修	職員基本研修 随時	新入職者
	介護	ノーリフト研修 (外部講師) 5/24 5/31	介護職員
		嚥下のメカニズム研修 11/1 11/8	介護職員
		トロミ研修 (外部講師) 4/19 4/26	介護職員
		排泄ケア研修 (外部講師) 9/4 9/15 9/26	介護職員
外部研修	介護	喀痰吸引実地研修 7/26~12/27 3名	介護職員
		特定施設事業者連絡協議会研修会 6/9	施設長

令和5年度 デイサービス令寿事業報告書

令和5年度は5月に5類移行となり、それ迄自粛していた外部ボランティアを招き、外出訓練も年3回実施する事ができ、社会の雰囲気的には感染に対する意識が低下してきましたが、デイサービスは高齢者施設な為、感染対策はこれ迄通りとしました。

利用者数については、令和5年3月は一日平均利用者数 18.8 名、利用件数は 510 件、令和6年3月には 20.9 名、利用件数は 543 件と増加しました。見学者と体験者は積極的に受け入れ、利用者やスタッフの身内を紹介、利用に繋がりました。利用者の介護度も徐々に上がり、要支援の方が要介護へ、軽介護度の1~2の方が3以上に上がり、転倒リスクが多い方が増え、職員配置や業務改善などを職員間で何度も話し合い改善をしていました。利用者の休み後の振替えは積極的に勧めました。

職員体制については、令和5年7月生活相談員が退職、職員は最少人数で、更に体調不良の職員もいて欠勤もありましたが、生活相談員業務は管理者、PT、介護職で、毎日の業務に追われながらも協力して行い、特に大きな事故もなく乗り越える事ができました。

(食事)

給食員会で委託業者との積極的な意見交換をしており、できる範囲内で改善や工夫をされております。急な変更にも対応してもらっており、汁物と御飯が特に美味しいとの事です。

(設備)

園庭での花や野菜を植えている為、歩行訓練の時には成長が楽しみで、ごうややスナップエンドウ、ひともじ等収穫し、利用者様にじゃんけんで勝った方に持ち帰っていただいています。広い園庭は見学者や体験者の方が開放的で外の空気を吸えると気に入られ、利用に繋がっています。

(機能訓練)

- ① 利用者様の生活・身体状況を把握し園庭での歩行訓練、体操、マシン運動に取り組んでいただいています。又、自立した生活に繋がるよう洗濯物畳み等も取り組んでいただいています。
- ② 日常生活状況確認表を三ヶ月に一度行い、ケアプランに沿った計画書を作成する事ができています。ただ、遅れる事があるため、作成が遅れないよう業務内容を見直していきます。
- ③ 認知症の診断を受けた方はできるだけ機能訓練を行い、経過をみるようにしています。又、進行が見られる方には利用回数を増やすことを検討いただいています。
- ④ マシン、物理療法を活用し心身の向上を図る事ができています。

(入浴)

利用者様の心身の状況に応じ安全に入浴サービスを提示し、異常の早期発見、転倒防止に努め看護師と他職種で密に連携ができました。

(活動の充実)

年間行事と共に、フリーマーケットを年2回行い、考え体を使い自分の目で商品を選ぶという一連の動作で買い物リハビリに繋がりました。又、外部ボランティアの訪問により、利用者様は大変楽しまれ、満足度も向上できました。

(感染対策)

去年5類に移行後も、事業所は高齢者施設な為これ迄通りに消毒と清掃は継続しています。利用者様と職員の体調管理は常に把握しています。

(CS・5S活動)

CSについては、職員の人員配置は限界があり、利用者様からの要望はあっても実現できない事もある為説明を繰り返しています。5Sについては、常に職員間で情報共有し、利用者様の安全確保と快適な職場環境に努めました。

(接遇対策)

利用者様への気持ちの良い挨拶や態度で接し、職員も専門職としてのプライドを持ち、職員間も気持ちの良いコミュニケーションで関わる事ができました。職員一人一人は積極的に協力しあい、利用者様の為、お互い働く職員の為に職場を大切にす

る気持ちがあります。

(業務継続計画)BCP

作成しファイルしています。

デイサービスの利用状況

令和5年度(単位:人)

利用月	利用人数	営業日	平均人数
4月	466	25	18.6
5月	484	27	17.9
6月	474	26	18.2
7月	488	25	19.5
8月	497	26	19.1
9月	483	26	18.5
10月	498	26	19.1
11月	525	26	20.1
12月	533	25	21.3
1月	472	24	19.6
2月	467	25	18.7
3月	543	26	20.9

令和5年度3月末日現在(単位:人)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
10	12	20	15	3	0	2	62

デイサービス令寿年間行事

行事

月	行 事		
4月	花見	10月	紅葉狩り
5月	端午の節句	11月	文化祭
6月	運動会	12月	クリスマス会
7月	七夕コンサート	1月	初詣
8月	夏祭り	2月	節分
9月	敬老会	3月	桃の節句

令和5年度 ケアプランセンター令寿事業報告

① ケアマネジメントの充実

□利用者の心身状況や人格尊重および公正中立な立場でのサービス調整

* ご本人及びご家族の意向を尊重しつつ、アセスメントによる的確な課題分析のもと、利用者様が望む暮らしが実現できるよう、支援継続を行っています。

* 特定の事業所にサービスの偏りが生じぬよう、複数の事業所を紹介することによる利用者の選択を促しています。

□自立支援に向けたケアマネジメント

* 安易なサービスの位置づけではなく、本人が有する能力を可能な限り活用できるように利用者に不利益を与えないようにチームアプローチを行い、ケアプラン作成に努めています。

□幅広い情報の収集

2ヶ月に1回開催される『東3地域包括・ケアマネ合同連絡会』へ毎回参加し、最新の介護保険や地域社会資源の情報等の収集・共有を図っています。

□地域関係機関や団体等との連携及び利用者への情報提供

* 地域包括より「キャラバンメイト講師」の依頼あり

■令和5年7月 託麻北小学校

■令和5年9月 託麻北自治会・女性の会 講師を行いました。

その他、ファシリテーターとして長嶺中学校に協力しました。

* 包括支援センターへの営業と信頼にて利用者様新規紹介あり

・ ささえりあ江津湖、ささえりあ託麻、ささえりあ保田窪

* 要介護者4件 * 要支援者：3件

要支援者の状態確認し変更申請行い、要介護者認定へ2名実績あり

□加算要件の確認および書類の整備

* 居宅支援費請求時では、加算の算定可否を要件にて確実に確認。必要となる書類についても確実に作成及び保管することを徹底しています。

□ケース記録の整備と職員間での情報共有

・ 運営基準に定められた項目を遵守することを大前提とし、進捗状況管理表等を用いて確認し、期間内に作成する意識付けを図っています。

*入院時の情報提供加算（200単位）：5件 実績あり

② 介護支援専門員の資質向上

□災害時等における地域へ提供が可能となるネットワーク構築

*BCP作成が未実施の状況にあったが作成完了

□研修参加による連携強化およびマネジメントへの活用

*認知症ケア専門士として更新申請のため学会等参加あり（30単位完了）

□介護支援専門員として必要となる知識や技術を身に付ける

*主任介護支援専門員更新時に必要な単位数確保のため研修参加は必須

□不満や苦情への適切且つ迅速な対応

*マネジメント業務において、苦情等の発生なし。（ゼロ）

□秘密保持・個人情報取り扱いの徹底

業務上知り得た情報は、マネジメント上において必要な関係各所への提供に限るものとし、その際はご本人・ご家族へ随時了承を得て必要最小限にて、漏れる事なく取り扱っています。（遵守しています）

③ その他

*令和5年4月より二人体制となりましたが、4月有料の応援、5月ディサービス令寿の相談員欠員にてデイと兼務となりました。デイの給付管理等を支援しつつ今後、引き継ぐために様々な手順書を作成し、相談業務遂行できるよう支援しました。

*地域に認められ、介護保険サービス事業所からも重要視されるように、公正中立に努めています。また「ケアプランセンター令寿」として令寿のブランドを汚すことがないよう、利用者様の依頼があれば全てサービス提供に繋がっています。

ケアプランセンター令寿 令和5年度 実績進捗状況

【令和5年度実績】

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)
要支援	13	13	12	12	12	11	12	12	12	12	13	12
金額	¥49,400		¥46,500		¥42,680		¥52,060		¥46,580		¥52,060	
要介護 1～2	17	17	16	16	16	15	18	18	20	20	20	20
金額	¥182,920		¥172,160		¥161,400		¥193,680		¥215,200		¥215,200	
要介護 3～5	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
金額	¥13,980		¥13,980		¥13,980		¥27,960		¥27,960		¥27,960	
総件数	31		29		29		32		34		35	
加算	0	¥0	0	¥0	1	¥2,000	2	¥6,000	2	¥6,000	3	¥5,500
月遅れ	1	¥16,760	0	¥0	0	¥0	2	¥24,740	0	¥0	0	¥0
金額総計	¥263,060		¥232,640		¥220,060		¥304,440		¥295,740		¥300,720	
デイ令寿	14		13		12		14		14		13	
	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)
要支援	12	12	12	12	14	12	13	12	12	12	12	11
金額	¥46,560		¥46,560		¥55,060		¥46,560		¥46,560		¥42,680	
要介護 1～2	20	19	21	21	21	21	21	21	21	21	22	21
金額	¥204,440		¥225,960		¥225,960		¥225,960		¥225,960		¥225,960	
要介護 3～5	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3
金額	¥13,980		¥13,980		¥13,980		¥27,960		¥27,960		¥41,940	
総件数	33		34		36		36		35		36	
加算	3	¥9,000	0	¥0	0	¥0	3	¥8,000	0	¥0	2	¥4,000
月遅れ	1	¥13,760	0	¥0	0	¥0	2	¥24,740	0	¥0	1	¥13,760
金額総計	¥287,740		¥286,500		¥295,000		¥333,220		¥300,480		¥324,340	
デイ令寿	13		13		11		8		10		7	

1
2



3
4